



平成28年度 第64回 武蔵野市民文化祭

映写会

映像力で100周年を盛り上げたい！

井の頭恩賜公園は「むさしの」のシンボル的な存在で、
来年5月に開園100周年を迎えます。



開園100周年

公認イベント

+1917 +2017
井の頭恩賜公園
100年実行委員会

ついに
グランプリが決定！

ショートムービーコンテスト
結果発表！

- 映像と絵本で振り返る
「ありがとう。はな子」コーナー
- ガイドブックの著者が語る
「公園トリビア紹介」コーナー
- さらに、公園映像制作での
新企画プラン発表

催事名：映写会

開催日：平成28年10月30日(日)

開場：午後4時30分

開演：午後5時

終演：午後7時予定

場所：武蔵野公会堂 <入場無料>

共催：武蔵野市民芸術文化協会・武蔵野市教育委員会

後援：東京武蔵野ライオンズクラブ

主管：「むさしの」から映像文化を育てる会

連絡先：ムービンピック実行委員会（担当：秋田克之）

武蔵野市西久保2-1-10 B1 シンクポート内

メール：mpoffice@think-port.co.jp 電話：0422-51-2113

第64回 武蔵野市民文化祭 映写会

映写会 タイムスケジュール

時 刻	内 容	時 間
16:30	開場	
17:00	ガイドブックの著者が語る「公園トリビア紹介」コーナー 『井の頭公園さんぽ』の上映	10
17:10	オープニング 主催者あいさつ 来賓者挨拶 来賓紹介	5
17:15	盛り上げコーナー 『応援動画』の上映	10
17:25	Love井の頭♡ショートムービーコンテスト ①審査員紹介 ②上映4作品 ③上映3作品 ④上映3作品	50
18:15	象のはな子特集 映像と絵本で振り返る「ありがとう。はな子」コーナー ^{上映:「絵本からのはな」 はな子の思い出を映像とともに振り返ります}	15
18:30	若者応援コーナー 成蹊大学映画研究部の映像とトークでの活動アピール	15
18:45	コンテスト結果発表 コンテスト結果発表と審査員講評 & グランプリ受賞者コメント	10
18:55	閉会の挨拶 公園映像制作での新企画プラン発表	5
19:00	終了	

※時間は目安です。進行状況によって前後することがあります。

ご支援いただきありがとうございました。

協 贊 (五十音順)	秋田 俊作 いけかわ まさお 大谷 久行 酒井薬品株式会社	有限会社 笹川興業 新光商事株式会社 株式会社TAKANE 谷口 由香	中浜工芸株式会社 中村 久文 株式会社HiPIT 矢口 功 廣瀬 訓子	星山 孝明 株式会社丸二 山田 律子 (Vibrant) 吉田公認会計士事務所
----------------------	--	--	--	--



LOVE Inokashira ❤ Short Movie Contest

ムービンピック プレゼンツ ~井の頭恩賜公園開園100周年記念~

ショートムービー 公会堂上映作品

※初めに4作品を上映して、監督（代表者）にご登壇いただき、MCとの質疑応答。
同じ流れで、3作品上映後の質疑応答、3作品上映後の質疑応答となります。

1	小野 光洋 RAINY PARK [180]	『RAINY PARK』 恋人がほしいけれど、出会いがない……。 そう呟いたユミコの前に、あるキューピッドが現れる。 都会の公園を舞台にした、ボーイミーツガールの小さな物語。
2	日藝 視聴覚アート研究会 G.F. [179]	私たちの作品は「井の頭恩賜公園 × 若者」がテーマです。井の頭公園はデータスポットとして若者にも人気があります。そこに、若者にとって最も身近な映像ジャンルであるMV（ミュージックビデオ）を重ね合わせました。井の頭恩賜公園で彼女とデートをする彼氏視点の少し特別な日常を、大学生の私たちが背伸びせず、等身大で描きました。
3	ヤマモト ミユキ 井の頭女子物語 ~Evergreen Memory~ [179]	これは井の頭恩賜公園で小学生時代を過ごしたアメリカ人と日本人の物語。小学校卒業とともにアメリカに帰ったメーベンとミユキはずっと文通が続いた。今年、メーベンは40年ぶりに初めて家族を連れて来日。仲間たちと思い出の場所を巡り、恩師を招いて同窓会を開いた。大人になった私たちが懐かしい時代にタイムトリップした1日の記録。
4	ぱぴ蔵 ヒトナツのゆめ [170]	長い間、ひとり寂しく井の頭恩賜公園で過ごしてきたダンボー。決してひとりでいたい訳ではない。 手を触れると消滅してしまうという呪縛に囚われていたため人目を避けってきたのだ。そんなダンボーが井の頭恩賜公園で恋に落ちてしまう…
5	あいり 井の頭の小さなゾウ [179]	井の頭恩賜公園に関係する事柄の中で、ゾウのはな子や桜など特に印象深いものを作り入れたいと思い、この物語を考えました。 はな子の生きる姿に多くの人が勇気や元気をもらい、癒され、心動かされたと思います。そんなはな子のように、見てくれた人を少しでも癒すことが出来たら嬉しいと思い制作しました。
6	Mizuki The Seasons [90]	幼い頃から慣れ親しんできた井の頭恩賜公園。家族と、友人と、幾度もの季節をここで過ごし、想い出を積み重ねてきました。 時が経ち自分を取り巻く環境が変化しても、いつも変わらずに在る、井の頭恩賜公園の四季を描きました。この美しさが、百年先も続いていますように。
7	むらた ゆい きえゆく夏に [179]	井の頭恩賜公園に訪れるのが日常である紀夫（内藤誠）は、楽しそうにボーダーに乗る若いカップル（大津尋葵・田中結花）を見つめ微笑んでいたが…誰しもを受け入れてくれる公園で感じられる哀しみと喜び。一生のうちのひと夏を温かくも切なく描いた物語。 監督・脚本・編集 / 村田唯 出演 / 内藤誠 / 大津尋葵 / 田中結花
8	八重の花 おもいであそび [170]	「日々忙しく過ごす中で忘れてしまう“あそび”的気持ちを古い友達はすぐには思い出させてくれる。時間は流れ続けるけれども、ふと、あの公園に集まればいつでも遊ぶことができる。誰の為でもなく思いつきで、今日は“おもいであそび”をしよう。」
9	ゆーさく U39 白昼の夢 [144]	はな子の死が夢であつたら良いのにという思いを込めて、追悼として制作しました。 2010年に撮った映像に再編集を加えて仕上げています。
10	高橋 良多 スワンの大冒険 [180]	井の頭恩賜公園のスワンポートはオスが一匹しか存在しない。そんなメスばかりの中で育ったオスのスワンポートが人間に変身し、男友達を探すため、井の頭恩賜公園の様々な場所を冒険する話です。

※作品タイトルの後の【】内の数字は、作品時間(秒)です。

審査員長

すず き ひとし
鈴木 仁 (イベントビジュアルプロデューサー)

東映アニメーション株式会社で数々のイベントをプロデュース。全日本国民的美少女コンテスト、三越本店子供大博覧会、バンダイの販促イベント、北九州のスペースワールドの建設プロジェクト、他。2005年から東京国際アニメフェア事務局のチーフプロデューサーを務めた。現在も映像制作イベントコンサルタント等 各方面で活躍中。

審査員

うえ がき やす ろう
上垣 保朗 (映画監督)

日活撮影所に入社。監督昇進後、代表作『ピンクのカーテン』など14作を撮る。その後、フリーでTVやVシネマなど多数を手掛ける。2000年に劇団「染地組」の旗揚げ、2012年に演劇「6人のイカれる女」公演を実施。2012年、第一回ムービンピックで金賞、翌年第二回では武蔵野ライオンズ賞を受賞。

きり やま とも か
桐山 智花 (声優)

声優として、TV アニメ『HUNTER×HUNTER』ビヨン役や『それいけ！アンパンマン』モモコ役などの活動をしながら、歌手・モデル・ラジオパーソナリティ・イベントMCやナレーションなどで活躍中。

む とう たけし
武藤 敏 (武蔵野市観光機構 事務局長)

(株)デサントに入社。アディダス、ルコックなどの企画に従事。その後、(株)JTBに転職し、MICEなどの分野を担当。2010年、武蔵野市の要請によりJTBから出向し現職に至る。「都市観光で魅力的な街づくり」をモットーに、フィルムコミッショング事業を始め、市内の交流人口拡大による地域活性化を目指している。

世界の映像クリエイターから“憧れの地 武蔵野”と言われる日を目指して
2012年より動き始めている夢企画があります



映像制作競技会「ムービンピック」とは…

制限されたルール内で行う映像制作競技会のこと。映像アスリートたちを集めた大運動会。

世界の映像クリエイターたちが、持てる技能と情熱のすべてを出して競い合う「夢の祭典」。

そう、

映像業界のオリンピックが、武蔵野発のイベント！ムービンピックなのです。

コンセプトは…

映画祭のほとんどは、完成作品を集める上映スタイルで優劣を競うもの。

ムービンピックは映像クリエイターを集めて、その町と一緒に作品を創り上げることで、

地域密着型イベントとしての新たな可能性を生み出します。

地域のメリットは…

町が宣伝したい場所や名産品などがありますか？

競技参加のクリエイターたちが、あらかじめ指定された条件の中で映像制作するので、

各競技ごとに“町が望む”質の高いプロモーション動画が生まれます。

回を重ねるごとに蓄積される「町の財産になる映像ストック」

ムービンピックの知名度が高まれば、そこで生み出された作品を見る人たちも膨れ上がります。

世界の映像クリエイター“憧れの地 武蔵野”へ

もともと多くのクリエイターに愛されている武蔵野です。

この町に大きな可能性を秘めた才能を集めるイベントと、地元の温かなサポートがあれば…

新たな人材を発掘し、育て、彼らが世界へと羽ばたく場所になっていきます。

武蔵野から巣立ち、武蔵野が応援する映像クリエイターたちの活躍が、

「世界の映像クリエイター“憧れの地 武蔵野”」のイメージを確立し、

さらに多くの才能を生み出す町への連鎖を作ります。

公式ホームページ <https://www.facebook.com/movinpic/>